もっと安心農産物　ダイコン（秋冬どり）栽培暦

ＪＡいちかわ 船橋地区もっと安心農産物生産グループ

１．土作り

土つくりと、センチュウ防除対策としてマリーゴールド・ヘイオーツを輪作体系に作付けする。
完熟堆肥を使用する。堆肥の補助資材としてアゾミンを使用する。

２．施肥　土壌診断にもとずき施肥量を遵守します。（化成肥料由来の窒素成分量4.5kg／10a以内）

	肥料名	保証成分（%）	施肥量
基　肥	①スーパーMMB有機	10−12−10（有機態N2.1%）	56kg／10a
	②スーパーマイルド086	10−8−6(有機態N6.1%)	100kg／10a
	有機アグレット673特号	6−7−3（有機態N6%）	80kg／10a
	苦土重焼燐	0−35−0 苦土4.5	20kg／10a
	苦土セルカ2号	（カキ殻100%の有機石灰）	60kg／10a

※ 基肥は、①スーパーMMB有機または②スーパーマイルド086のいずれかを使用する。

※ 有機アグレット673特号は、①あるいは②で窒素成分が不足する場合に施用する。

３．防除　農薬使用成分回数は合計８回以内までです。（薬剤名後（ ）内数字は、化学合成農薬成分数を示す。）

（スピノエース顆粒水和剤・BT剤・Zボルドーは、化学合成農薬に含まれません。）

月	管理作業	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施等）
8月上旬	播種	ディ・トラペックス油剤（2） キルパー　（1） D−D　（1） バスアミド微粒剤（1） ネマトリンエース粒剤（1） のいずれかを使用する。	30ﾘｯﾄﾙ/10a 60ﾘｯﾄﾙ/10a 20ﾘｯﾄﾙ/10a 20kg/10a 25kg/10a	ﾈｸﾞｻﾚﾈﾌﾁｭｳ	栽培品種： 夏の守　福誉　8／中〜9／中 播種 青誉 福天下　9／中〜9／下 播種 冬自慢　9／下〜播種 資材：マルチ　9224 9227 9230 ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞは、発生初期に防除をする。 白さび病は、間引き前後の防除が重要。 ﾖﾄｳﾑｼの防除には、発生初期にBT剤（エスマルクDF）1,000倍を散布する。 軟腐病等病害防除には、Zﾎﾞﾙﾄﾞ−500倍を散布する。（高温時の使用は薬害が発生するので注意する。） <台風にともなう病害防除対策> 軟腐病の発生が心配されるためスターナ水和剤1,000倍（収穫14日前5回以内）を散布する。病気の進展が早いので圃場に入れる様になり次第早めに実施する。 収穫後、作物残渣はきれいに処理して病害虫の発生源をなくす
中旬		ユニフォーム粒剤　（2）	9kg/10a 播種時全面土壌混和	白さび病	
下旬		フォース粒剤　（1）	9kg/10a 播種時1回	ｷｽｼﾞﾉﾐﾑｼ	
9月上旬		プロフレアsc　（1）	2,000〜4,000倍 （収穫前日3回）	チョウ目・ ハムシ専門剤	
中旬		プレバソンﾌﾛｱﾌﾞﾙ5（1）	2，000倍 （収穫前日3回）	ｺﾅｶﾞ・ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ・ﾖﾄｳﾑｼ	
下旬		ハチハチ乳剤　（1）	2,000倍 （30日前・1回）	ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ	
10月上旬	収穫	モスピラン顆粒水溶剤（1）	2,000倍 （14日前1回）	アブラムシ	
中旬		ランマンフロアブル（1）	2,000倍 （3日前3回）	ワッカ症 白さび病	
下旬		アファーム乳剤　（1）	1,000倍 （7日前・3回）	コナガ	
11月上旬		ダントツ水溶剤　（1）	2,000倍 （7日前2回）	アブラムシ類	
中旬		スピノエース顆粒水和剤(O)	2,500倍 （7日前3回）	ｺﾅｶﾞ・ｱｵﾑｼ	
下旬		ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤（1） 又はアクセルﾌﾛｱﾌﾞﾙ(1)	2,000倍 1,000倍 （7日前2回）	ハイマダラノメイガ・コナガ	
12月上旬		アニキ乳剤（1）	1，000倍 （3日前3回）	ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ｺﾅｶﾞ	
中旬		アミスター20 フロアブル（1）	2,000倍 （14日前3回）	ワッカ症 白さび病	
		ベネビアOD（1）	2,000倍 （前日3回）	ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	
		トランスフォームフロアブル（1）	2,000倍 （前日3回）	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	

☆みんなで守ろう生産基準